

国登録文化財の登録について

1. 宮城野納豆製造所の建造物群

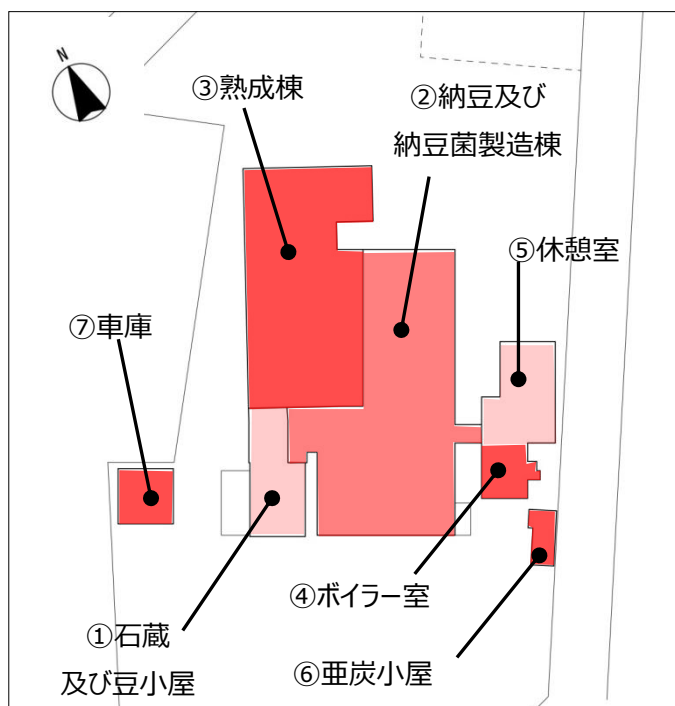
(1) 概要

宮城野納豆製造所は、宮城野区銀杏町に所在する、大正 9 年（1920）創業の、納豆と納豆菌の製造所です。昭和 9 年（1934）に現在地に移転し、発酵温度の調整ができる「三浦式納豆室（文化室）」を開発して、納豆の近代的製造法の確立に貢献しました。現在も全国で流通する納豆菌の約 2 割が当製造所で製造されています。敷地内には、昭和 20 年代までに建てられた工場や倉庫が並び、納豆及び納豆菌の製造過程や、製造技術の発展の様子を知ることができます。

平成 31 年 3 月、敷地内の建物 7 件が、国登録有形文化財の答申を受けました。

(2) 国登録文化財の答申を受けた建物

- ①宮城野納豆製造所石蔵及び豆小屋：昭和 9（1934）年頃建築
- ②宮城野納豆製造所納豆及び納豆菌製造棟：昭和 9（1934）年頃建築
- ③宮城野納豆製造所熟成棟：昭和 9（1934）年頃建築
- ④宮城野納豆製造所ボイラー室：昭和 22～25（1947～1950）年頃建築
- ⑤宮城野納豆製造所休憩室：昭和 10～19（1935～1944）年頃建築
- ⑥宮城野納豆製造所亜炭小屋：昭和 22～25（1947～1950）年頃建築
- ⑦宮城野納豆製造所車庫：昭和 15～19（1940～1944）年頃建築



右上：①石蔵及び豆小屋

右下：②納豆及び納豆菌製造所



③熟成棟



③熟成棟 (内部)



④ボイラー室



⑤休憩室



⑥垂炭小屋



⑦車庫

2. 東北大学の建築資料群

(1) 概要

東北大学には、各キャンパスに現存する建物だけでなく、今は現存していない建物の図面類が保管されています。これらの資料からは、建物の内容だけでなく、設計機関や設計者について具体的に知ることができます。また、東北大学の建築教育の前身となった、仙台高等工業学校建築学科の建築教育・研究資料がまとまった形で保管されており、当時の実際の教育内容・研究内容を知ることができます。

平成31年3月、建築に関わるこれらの資料群2件が、国登録有形文化財の答申を受けました。

(2) 国登録文化財の答申を受けた資料

①官立高等教育機関営繕組織近代建築図面（東北帝国大学営繕課旧蔵）

：明治時代～昭和時代。1139点。

東北大学の前身となった官立高等教育機関等の建築図面類であり、東北帝国大学営繕課に保管されていた資料群です。文部省及び東北帝国大学等の営繕組織が設計・監理を担当したもので、明治20年(1887)設立の第二高等中学校のものから、新制東北大学に改組される以前の昭和24年(1949)3月までの図面類です。

②建築教育・研究資料（仙台高等工業学校建築学科旧蔵）：昭和時代。1437点。

東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻の前身である仙台高等工業学校建築学科等において、^{おぐらつよし}小倉強を中心に同校教官や学生等により、昭和5年(1930)～同26年までの期間に収集、制作、使用された資料群です。

仙台高等工業学校は、明治40年(1907)開校の高等教育機関で、建築学科は昭和5年に新設されました。仙台工業専門学校と改称後、昭和24年に東北大学工学部に合併され、昭和26年3月に廃校となりました。

資料群は、建築模型類、建築標本類、建築古材類、実測図面、典籍類、写真原板類から構成されます。この中には、宮城県会議事堂など、現存しない建物の模型や図面、写真も含まれています。



①のうち「東北帝国大学理科大学建図」



②のうち 宮城県会議事堂建築模型